



本園の教育目標



心身共にたくましく人間性豊かな子どもに育てる

本年度のテーマ

「やってみよう！」幼児の主体性を育むための環境構成や援助の在り方

<年中児の姿>



4月は進級した喜びに胸を膨らませ、登園する姿や新しい環境に少し戸惑い、登園を渋る姿があったと思います。5月に入り、少しずつ新しいクラスの友達や教師に親しみをもち始め、保育室や戸外で自分の好きな遊びを見つけ、楽しむ姿が増えてきました。友達の「ここにダンゴ虫がいるよ!」と言った声を聞いて集まり、「いっぱいいるなあ。」と驚いたり、砂場で「ごはんができましたよー!」とお皿に砂を入れて、友達と一緒にパーティーをしたりすることを楽しんでいます。友達の声を聞いて、「僕もやってみよう」と思える気持ちが少しずつ育ってきているように感じます。その一方で、「僕はこうしなかった!」「私はこうやってやりたいもん。」などと、思いのぶつかり合いも様々な場面で見受けられます。この“自分でやってみよう”“自分の気持ちを相手に伝えたい”という姿は、4歳児の成長過程にとって、とても大切な姿です。「自分から気持ちを伝えられた!」や「友達が話を聞いてくれた!」という経験を少しずつ積み重ねることで、人とかかわる楽しさを感じていきます。また、思いがぶつかり、葛藤することで、相手と自分の思いの違いを知るきっかけになり、折り合いをつけながら目的に向かって一緒に遊ぼうとする5歳児の姿につながっていきます。ご家庭で園の様子を伝える際に「友達とこんなケンカしちゃった。」と話をすることもあるかと思います。年中組では嬉しいこと、楽しいことはもちろんですが、トラブルなど、いろいろな体験を通して、「友達っていいなあ」「友達と一緒にやってみよう」という気持ちが育つように関わりたいと考えていますので、心配なさらず見守ってくださいね。



<こんな取組をします>

描いて・作って遊ぼう!
(絵画・製作活動において)

みんなで遊ぶの楽しいな!

げんきもりもりタイム♪



友達と一緒に触れ合い遊びやゲーム遊び等を行います。友達とかわかっていることができるいろいろな活動を取り入れ、「みんなと遊ぶのが楽しいな♪」の気持ちを育てていきます。

絵画では、伸び伸びと描くことができるように、絵本を見たり、表現活動をしたりし、イメージを膨らませてから、パスや絵の具を使って描きます。製作では、発達に応じたねらいをもち、年少組の時に経験したハサミや糊、セロハンテープ等の道具を使って、いろいろなものを作ります。子ども達の「描きたい」思いや「作ってみたい・試してみたい」を受け止め、できた嬉しさに共感し、自信につなげていきたいと考えています。

幼児の発達は体を大きく動かす“粗大運動”を行うことで、少しずつ末端の細かい動きである“微細運動”が発達していきます。絵画・製作等では手先の細かい動きが必要になってきます。その為にもまずは、楽しみながらいろいろな体の使い方や動きを習得していくことが大切です。そこで、毎月いろいろな運動や体の動かし方に挑戦していきます。ぜひ、園でどんな運動をしているかお父さんに聞いてご家庭でも挑戦してみてくださいね。

